

福岡（今泉二丁目2）外地区下水道築造工事 工事概要

安藤ハザマ・岩崎・西部・福東建設工事共同企業体

1. 工事目的

本工事は、天神周辺地区の浸水対策を目的とした雨水管渠の整備を行うものである。

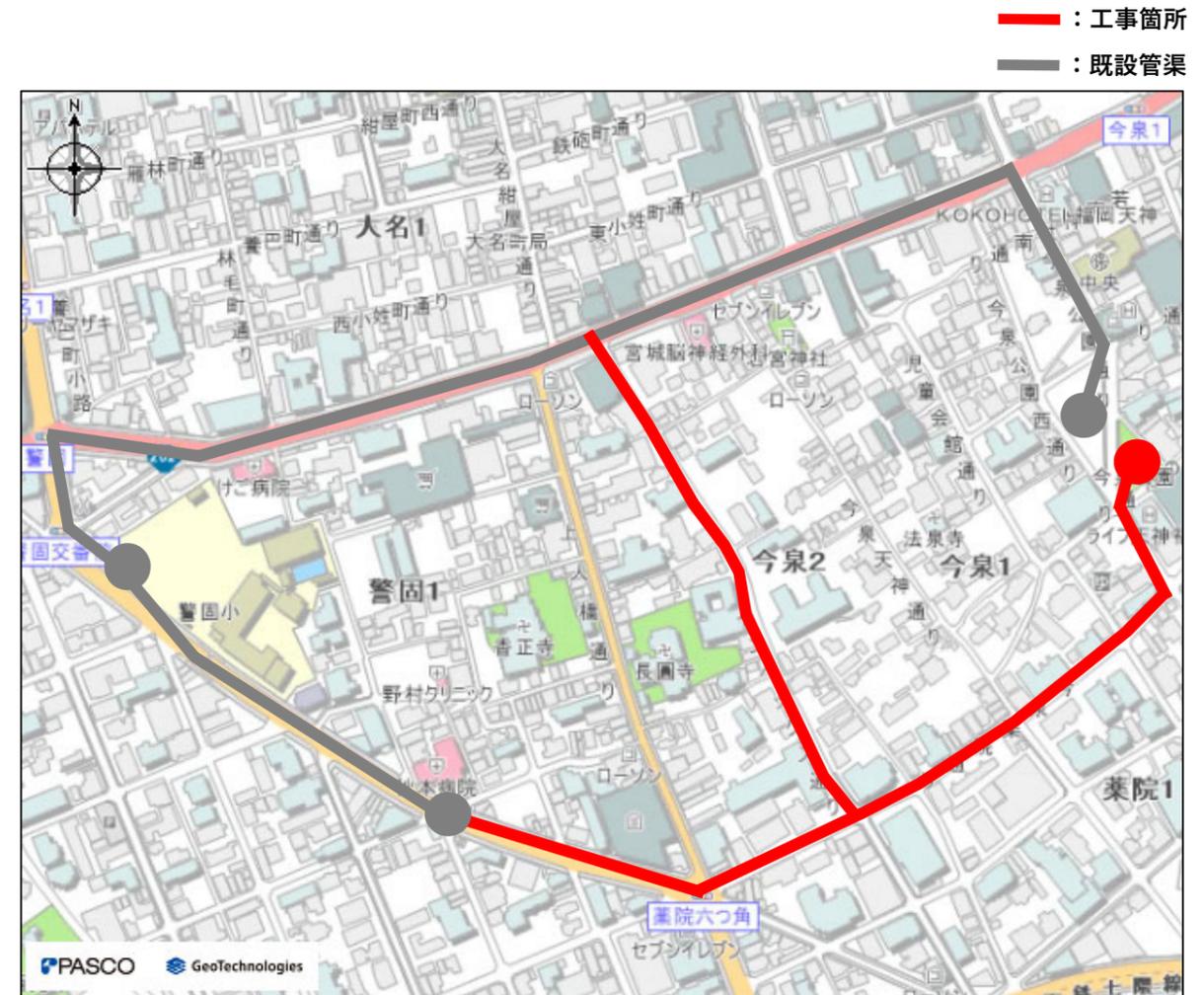
2. 工事概要

- 工事名：福岡（今泉二丁目2）外地区下水道築造工事
工事場所：福岡市中央区今泉二丁目外区内
工事期間：平成30年7月4日～令和5年3月31日
工事金額：¥3,531,782,948
施工業者：安藤ハザマ・岩崎・西部・福東建設工事共同企業体
発注者：福岡市 道路下水道局 建設部 中部下水道課
工事内容：
● 泥土圧式シールド工法（仕上がり内径：φ3,000mm） L=710.7m
（仕上がり内径：φ1,350mm） L=405.5m
● 立坑築造工 1箇所 ● 地盤改良工 1式 ● 付帯工 1式
● 仮設工 1式 ● 取付管推進工 4箇所

特に顕著な事柄

- ◎本市初となるシールド坑内から分岐する極めて難易度の高い分岐シールド工法を確実に履行した。
- ◎交通量が極めて多く地下埋設物が輻輳する国体道路直下における既設雨水幹線の接続において、本市では極めて珍しい凍結工法による接続の提案を行い、周辺地盤への影響に細心の注意を払い、無事故で工事を完了させた。
- ◎発進立坑にて、地中連続壁芯材の鏡切部に『合成木材FFU部材』を用いて施工を行った。鏡切部にFFU部材を用いることによって、従来的人力による鏡切作業が不要となり、シールドマシンにて直接坑口開口作業が行える事で、工期の短縮・土砂流入の危険性の排除等、施工性及び安全性を向上させる事が出来た。
- ◎市議会や海外研修員、地元小・中学生などの現場視察を受入れ、浸水対策の重要性と公共工事への理解を深めるための発信を行った。

3. 位置図



4. 工事写真

分岐シールド工法【九州初】



凍結工法【福岡市下水道工事初】



合成木材FFU部材の使用



多数の現場視察、勉強会の実施

